

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	安心と生きがいのある福祉のまちづくりプロジェクト		実施期間	H23～H29	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>近年の少子高齢化の傾向は当町でも顕著にみられ、特に65歳以上の高齢者の割合は約30%と増加傾向となっており、高齢者福祉施設の入所を待つ待機者の増加や、高齢者の生活環境を変えず地域にしながら高齢者介護支援が行える環境の整備が課題となっており、障害者の社会参加・就労支援等の課題とともに、行政だけでなくこの地域に根ざした社会福祉法人やNPOなどの福祉事業を営む事業者と協働して解決を目指す必要がある。</p> <p>子どもを取り巻く環境においても、景気の低迷により保護者の就労形態が多様になり、時間外保育や学童保育の利用も増加しているなか、保育現場でのニーズも多様化し、それらに応えるべく安心・安全な環境で子どもたちを育てることが行政の責務となっている。加えて、子育てをする保護者に関しては、従前からの行政による相談事業だけでなく、保護者同士の繋がりの中で子育てに関する悩みを解消できるような環境づくりも必要となっている。</p> <p>また、保健分野でも、がん等の様々な疾病の早期発見・早期治療に繋がる制度の充実や、介護予防やリハビリテーション事業の充実等、住民が抱く健康面での不安に応え住民自らが行う健康づくりをサポートする環境づくりが重要となっている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>子どもから高齢者まで、いきいきと社会参加できる「安心と生きがいのある福祉のまちづくり」を目指し、住民－事業者－行政の協働によって、子育て支援、高齢者や障害者の自立支援、健康づくりや医療体制の充実、地域福祉の推進等に取り組む。</p>							
	総事業費（千円）	265,514	本年度事業費（千円）	62,206	交付金額（千円）	13,790		
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	保育所整備事業	交付対象事業	地域の子育て基盤となる保育所の施設整備。			遊具整備、石川保育所食器消毒保管庫整備、緊急通報装置整備、岩滝保育所地下タンク流出防止工事等。		
	子育て支援センター事業	関連事業	子育て家庭の育児相談、子育てサークルの支援。			のべ利用人数：保護者2,192人、子ども2,730人。		
	がん予防事業	交付対象事業	がん検診実施事業。			胃がん1,840人、大腸がん3,157人、子宮頸がん1,143人、乳がん1,035人、肺がん3,390人、前立腺がん1,142人。		
	訪問リハビリテーション事業	関連事業	国保診療所を拠点とする、理学療法士による訪問リハビリサービス。			555件訪問リハビリ実施。		
	よさの健康づくりのつどい	関連事業	予防事業の普及啓発。			5月に開催。参加者100人。		
	岩滝ふれあいセンター整備事業	交付対象事業	敬老会の会場でもあり、地域の高齢者の交流の場である岩滝ふれあいセンターの利便性向上のための整備。			空調設備改修工事。		
	食と健康の拠点施設運営事業	関連事業	食と健康をテーマにした施設の運営。			平成24年度利用者数 のべ60,621人。		
住民 協働 事業	地域福祉環境整備事業	交付対象事業	福祉施設建設事業の土地造成等整備。			社会福祉法人・NPO法人等が福祉施設を新設するための土地造成工事。		
	地域福祉環境整備事業	関連事業	社会福祉法人・NPO法人等が福祉施設を新設。			H23～H24の2カ年度で整備中。		
	訪問介護員養成研修	関連事業	社会福祉協議会が開催する訪問介護員の養成研修。			19人研修受講。		
住民が 取り組む 事業	子育て支援事業	関連事業	実際に子育て真っ最中の母親が取り組むサークル活動。			子育てネットワークの形成。各種イベントの実施。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：与謝野町

成果指標 ①	成果指標の目標数値	特別養護老人ホーム入所申込者数の減 (H22の180人をH24に120人に減らす)		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	平成24年度130人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	社会福祉法人が運営する新たな特別養護老人ホームが平成25年春に開設され、目標達成の見込み。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	平成25年春に町内に新たな特別養護老人ホームが開設されるため、効果が表れるのは開設以降となる見込み。	(時期)
成果指標 ②	成果指標の目標数値	障害者の就労移行・継続支援者数の増加 (H22の84人をH24に120人に増)		成果指標の実績値 (平成25年3月31日時点)	平成24年度99人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成23年に再開されたリフレかやの里など、障害者が就労する機会は増えている。平成25年度にも新たな障害者就労支援施設を整備され基盤づくりはできている。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	平成25年春に町内に新たな障害者就労支援施設が開設されるため、効果が表れるのは開設以降となる見込み。	(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	<p>地域福祉空間整備事業など、行政と民間事業者等が一体となってこの地域にマッチした福祉施策を実施することによって、当町が抱える福祉分野での課題を効率的かつ効果的に解決することができる。 成果指標については、平成25年春に新たな福祉施設が開設したので、この施設が当町の抱える福祉分野での課題解決に大きな成果をあげると考えており、成果指標の達成も成せると考えている。</p> <p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>				
本プロジェクトに 対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業で掲げた、住民や民間の福祉法人が取り組む事業を支援するという形で、与謝野町が抱える福祉分野の諸問題に、町が一体となって解決に向け取り組むことができた。			
	府と市町村等との連携に資する成果	地域福祉環境整備事業などでは、平成23年度に府の支援を得て効率的に実施することができた。 また、地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。			
	住民の自治意識を高める成果	地域密着型の福祉環境の整備などにより、福祉の現場が郊外型の施設等から、利用者の生活環境を変えない居住地近辺へと配慮がなされるようになってきた。このような変化の中、住民も福祉の分野での関わりを意識することとなり地域社会全体で福祉の諸問題に取り組む意識の向上に繋がっている。			
	リーディング・モデル成果	特に、地域福祉環境整備事業にて整備される地域共生型福祉施設については、入所介護、訪問介護、障害者勤労支援など、この地域が抱える諸問題を一体的に解決することのできる先進的な取組として期待される。			
	広域的波及成果	特に、社会福祉法人などと協働で行う事業については、行政・事業者・住民が一体となって地域社会の抱える福祉の諸問題解決に成果を得られることが期待でき、一部の地域にとどまることなく町全域に波及するよう努めている。			
	行財政改革に資する成果	町立の福祉施設（保育施設やふれあいセンター）の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。 また、地域共生型福祉施設の整備においては、実績のある民間の福祉法人と協働で整備を行うことから、地域住民ニーズに即したサービスの提供を効率的かつ効果的に行うことができた。			